

こがねい

# 放射能測定室 だより



**福島第一原発**

**原子力事故を振り返って**

小金井市放射能測定器運営連絡協議会

小金井市と協働で、市民が食品の放射能を測っています

## 食品放射能測定

検体募集中

小金井市に在住・在勤・在学の方で、気になる食品の放射能測定をしたい方はどなたでも無料で利用できます。

はかって安心!  
食品放射能測定  
小金井市在住  
在勤・在学の方  
**無料**

測定のお申し込み  
問い合わせ



小金井市役所経済課  
消費生活係

**042-387-9831**

- 検体は食品にかぎります。
- 一回のお申し込みにつき、お一人2検体までとさせていただきます。(それ以上の場合は次の月をお願いいたします。)
- 検体は200mlをミキサーなどでなるべく細かく粉砕し、ビニール袋に入れて指定の測定日の朝9時に上之原会館にお持ちください。(測定室で粉砕も可能です)
- 現在の測定日は毎週金曜日、1日1検体を測定しています。
- 検体の受け渡し日時についてご都合が悪いという場合は別の受け渡し方法も調整いたしますので、ご相談ください。下記に記載のメールでもご相談は受け付けます。
- 測定結果は後日、経済課より指定の場所にてお渡しとなります。郵送でお送りすることも可能ですので、お知らせください。
- 測定検体は腐敗しないものであればお返しすることも可能です。受け付け時にお知らせください。



■ 測定器

シンチレーション検出器：CANBERRA 802 シリーズ 3x3 インチ  
MCA (マルチチャンネルアナライザ)：Osprey  
測定核種：セシウム 134,137 測定時間：6 時間

## こがねい放射能測定室 会員募集中!

一緒に測定活動に参加してみませんか

まずは下記までご連絡いただき、お気軽に測定室やミーティングをご見学ください。

小金井市からの委託を受けて、市が購入・維持管理する放射能測定器による食品の放射能測定を、市民ボランティアが行っています。依頼を受けての放射能測定のほか、放射能に関連する講演会の開催なども行い、広く市民の方と学ぶ場を持つための活動も行っています。測定活動を通し放射能に関する知識も深まります。ホームページ、Twitter、Facebook もご覧ください。

測定結果はホームページ、SNSでも公表しています  
小金井市放射能測定器運営連絡協議会  
e-mail : koganei.sokutei@gmail.com

公式  
HP



<https://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdofree.com>

市民が  
測っています!



	1号機	2号機	3号機	4号機
3/11	燃料の露出・損傷			
3/12	水素爆発			
3/13			燃料の露出・損傷 格納容器ベント	
3/14		燃料の露出・損傷	水素爆発	
3/15		原子炉建屋外への放射性物質の放出		水素爆発

福島第一原子力発電所事故の経過 (東京電力 HD「1~4号機同時事故による被害の拡大」を参照して作成)

## 福島第一原発原子力事故を振り返って

1990年から市と協働で食品の放射能測定活動を続けてきた協議会。2011年3月11日(金)東日本大震災後の原発事故後、私たちはそれまでのチェルノブイリ原発事故の影響をふまえた測定活動から、国内の原発事故というすぐそばにある不安に寄り添うため、活動内容、形態を大きく変化させてきました。事故後の10年間はただがむしゃらに測定活動継続のために突き進む日々でしたが、状況も落ち着いたところで、当時の事を少し振り返って記録しておく必要を感じ、当時参加していたメンバーにインタビューを行い、今回の記事をまとめました。

(漢人/香田/中嶋/矢澤/聞き手：諏訪間)

### 東日本大震災当日、そして原子力災害のはじまり。

【諏訪間】震災当日のことについて聞かせてください。

【漢人】当時、市議会議員で、議会中でしたね。中断して、休憩になり、議会は延期になりました。あまり覚えていないのですが、6階の我が家は意外にモノが倒れたりしませんでした。

【香田】当日の事はけっこうよく覚えています。ちょうど、朝は測定の当番の日でしたが、行ってみたら少し測定器にトラブルがあり、時間がかかりましたがなんとか測定を開始させてからそこを離れました。(※測定は6時間かかるので、測定を始める担当と、測定完了したものを取り出し、確認する担当に当番を分けています)その後日野

市に用事があり、出かけたあと震災になったのですが、電車が止まってしまい帰れなくなって、妹の家に泊まらせてもらいましたが、測定器がどうなったか、とても気になっていました。

【諏訪間】結局測定器は問題なかったのですか？

【香田】測定器は問題ありませんでした。

その日の取り出し当番は中嶋さんでしたが、当日は取り出すことができず、13日に取り出していますね。

【諏訪間】そして、3月12日(土)に東京電力福島第一原子力発電所の1号機が水素爆発しました。その時はみなさんどうしていたのでしょうか？

【香田】個別に電話しあったりして、情報交換していました。その間にも原発の状況はどんどん悪くなってしまいました。

【中嶋】孫のことが心配で、ヨウ素剤がなんとか入

手できないかと市内の薬局を回って探していました。引越したいという方などもいらっしゃいましたね。翌週からたびたび計画停電があったので、上之原会館も停電となってしまい、測定が途中で止まってしまうこともありました。

【諏訪間】うちも上ノ原会館から近いので、同様でした。信号機も消えていましたし、市役所も停電していたと聞いています。

### 雨に濡れたハコベから 906Bq/Kg

【香田】14日の3号機爆発後に、メンバーの家に数名が集まりました。そこではまず測定器が動いていてよかったと。とにかく、測らないといけないという気持ちをみんな持っていました。すぐ測りたいということで、定期的な測定のほかに、テスト測定させてもらうことを経済課に頼もうと話しました。とにかく、粛々と測定することが大

切だと活動について確認し合いました。

数日後が雨予報だったので、雨に放射能が含まれているだろうということを想定して、雨にあつたものや雨水を測ろうということになりました。漢人さんが採取したハコベからは906 Bq/kgという高い値が示されました。

【漢人】そうなんですよ。雨には放射性物質が多く含まれているかもしれないと思いましたが、春の七草なので気にせずあまり洗わずに食べてしまう方もいるかもしれない。だったらまず雨に濡れた状態で測ってみたいと思いました。そういえば、最近は見ませんね。あの頃は近所にたくさん生えていたんですけど。

【諏訪間】当時からみなさんそういう知識があったのですか。そのあと、どんどん原発は状況が悪くなっていききましたね。

【香田】このあたりで経済課からの了解を得て、臨

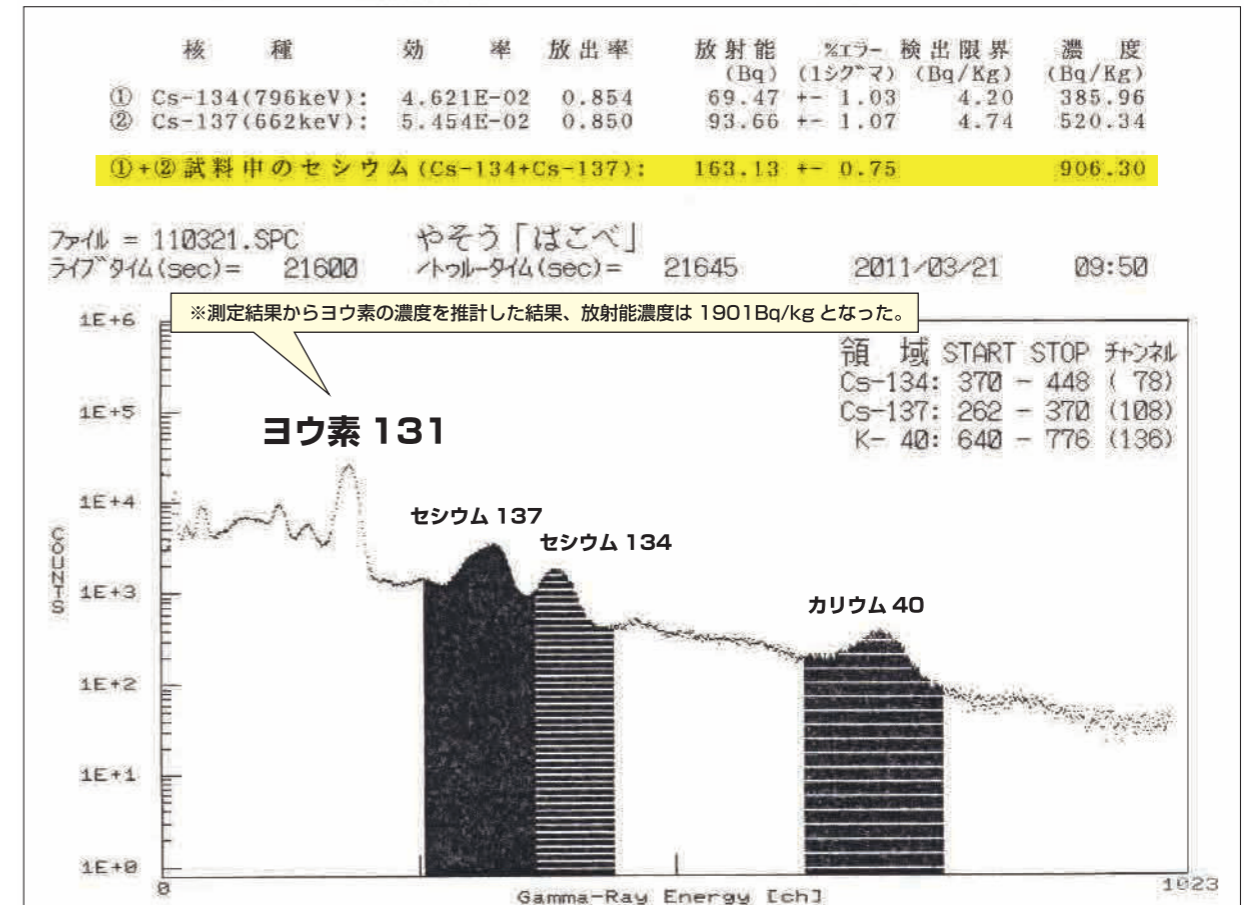


図2: ハコベの測定結果 (2011年 3/21 測定)



時にテスト測定を開始することができました。ほうれん草をまず洗わずに測り、しっかりと洗ったり、茹でたりして測りました。

【諏訪問】どのようにしたら放射性物質が少なくなるか知りたかったのですね。それがわかれば市民のみなさんにもよく洗ったり、茹でたりすれば数値が下がるという安心感をお伝えできますよね。

【中嶋】3月21日夜に、市内のファミレスにメンバー数名が集まり、また話をしました。これからどうする？と。みんなでがんばって測ってこうと励まし合い、翌日からもテスト測定を続けました。

【香田】当時を振り返ると、とにかく、今じゃないと測れない！とみんないきり立っていました。

## スペクトルデータには ヨウ素 131 のピークも。

【諏訪問】この時期のセシウムが検出されているデータを見ると、放射性ヨウ素のピークも出ているんですよ。(図1)

【香田】前述のハコベに関しては、測定結果分析表のスペクトルに、普段は目にしたことの無いピークが現れて大変驚きました。4日後の3月25日に再び測定したところ602 Bq/kg という数値となり、放射性ヨウ素の半減期が8日であることを実感しました。

【香田】4月になってからタンポポを測りはじめました。このあとタンポポに注目して、市内のいろいろな場所で採取してたくさん測っていましたね。公園に自生するタンポポの中には2000 Bq/kg を超えるものもありました。

## 市民への迅速な情報提供のため、 ホームページ制作。

この頃から市民の申し込みが増え出したので、順次掲載できるようにホームページをつくらうという話になり、連休の間にメンバーが準備をし、5

月頭くらいから運用しました。ここから測定結果をすぐに市民のみなさんにお知らせすることが可能になりました。

【矢澤】測定の頻度はどのように変わっていったのでしょうか？

【中嶋】事故直後は市民の申し込み枠を週1で測定をしていましたが、それ以外も経済課の了承のもとテスト測定をたくさんしていました。

そのあと、5月からは週3回 火水金で1日1検体を測定していました。

【諏訪問】一気に測定回数が増えたのですね。

9月くらいから、私も測定室の活動に参加しました。4月くらいに、水道水の放射性ヨウ素汚染のことが心配で市役所に放射能検査をしてもらえないか問い合わせたりしていましたね。そんな中で、Twitter で市議さんが小金井に市民が測定している測定室があるということを発信されていて、協議会の存在を知りました。矢澤さんが参加されたのもほぼ同時期でしたよね。

【矢澤】私は7月に、市民が企画した測定室の活動を紹介する会に参加して、測定室のメンバーの方々のお話を聞いたのが測定室を知った初めての機会でした。この頃から参加した新しいメンバーも他に数名います。一番測定頻度が多い頃だったので、なんとか日々の測定当番をみんなでこなしていました。

## メディア取材や測定室の見学など、 関心が高まる測定活動。

【諏訪問】私は当時は主に測定室だよりなど印刷物の制作やWEBなどの広報活動を行っていましたが、この頃測定活動を支えたメンバーのみなさんのおかげで当時のデータがしっかりと残っているのですよね。この頃、測定室は注目されることが多く、外部からの見学もかなりありましたよね？

【香田】20年以上も測定活動が続いているということで、6月くらいから、全国からいろいろな立

場の方が見学に訪れました。特に、放射能汚染の懸念が深刻だった地域の方々の見学は真剣さが違いました。

【諏訪問】みなさん汚染の心配から測定活動を自分たちの手でやりたいという気持ちがあって見学にいらしたのですね。

【香田】市民が主体となって測定を始めたいという切実な思いには、こちらの身が引き締まる思いでした。また、私たちの測定活動は全国でも稀な行政と協働しての活動だったので、「行政と力を合わせて長い間継続させてきた活動には学びたいことが多い。」「行政との関係がとてま羨ましい。」と言われる事がたいへん多く、恵まれた環境での活動であったことも実感できました。



NHK クローズアップ現代 2011年10月3日放送  
【安全を守れるか 食品の放射能検査】で測定室に取材が入る。

【諏訪問】新聞、テレビなどメディアなどの取材もかなりありましたよね。

【香田】はい。NHKの取材もありましたし、国内だけでなく、海外からの取材もたくさんありました。ドイツ、フランス、韓国などのメディアからも取材を受けました。

【諏訪問】どのようなことをお話ししましたか？

【香田】海外の方には特に、原発事故後の日本で市民がどのように動いているか、少しでも伝わればと思いお話ししました。そのように関心を寄せていただけるのは有り難いことだと感じる一方、事故を経験し、汚染と向き合っている私たちの様子をこの後も忘れてほしくないな、と思いました。

【諏訪問】メディアの取材のほかにも、協議会のメ

ンバーがさまざまな講演会に呼ばれて講師として測定室の活動について話をするというのも多かったですよ。日常の測定活動に加えて見学の対応や講演会などで、ここから数年はかなり忙しい日々だったと思います。

## 測定依頼殺到。週6検体の測定へ

【香田】メディア露出や講演活動の影響もあったのか、その後さらに測定依頼が殺到するようになり、11月からは1日2検体測定に増やして週6回の測定になりました。

【諏訪問】週6回の測定だと、かなり測定員の負担は大きいですよ。よくボランティアで続いたなと思います。

【矢澤】この頃の測定結果は、すべて測定室だよりに掲載してありますが、2012年の年間の測定数は327件でした。

【諏訪問】今は測定の申し込みは経済課に電話をし、測定日が決まったら、そのまま当日検体を測定室に持ってきていただく形ですが、当時は申し込み依頼の市民の方に、中嶋さんがすべて連絡をいれて検体の受け渡し方法や持ち込み方などをお伝えしてコミュニケーションをとっていたので、かなり大変でしたよね。



2011年の測定室の様子



【中嶋】市民が気になるものを市民の手で測っているという意義を感じていました。古いながらも測定器が動いていたおかげで事故後すぐに測定を開始できたことも、よかったと思いました。国の基準値を超えた製茶や干しシイタケについても私たちの測定で見つけることができました。測定依頼者に結果を返却する際に、できるだけわかりやすくスペクトルや数値の説明をし、納得していただけるよう心がけました。

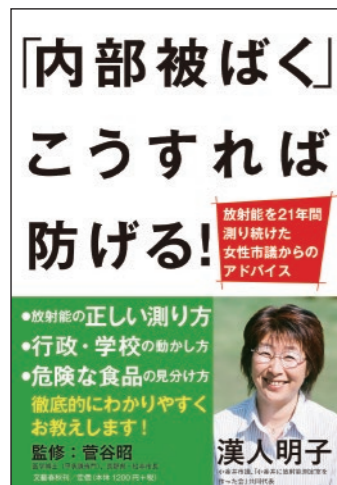
【矢澤】母乳などを測定依頼される方が多かったですよね。小さなお子さんをもつお母さんの心配は尋常ではなかったと思います。

放射能が検出された測定結果はありませんでしたが、結果よりも測ることで安心感につながったと思います。事故翌年に雪が降ったとき、上之原会館の前を「うちの娘の母乳を測ってもらってお世話になった」といって近所の男性が雪かきをしてくださったのを覚えています。

測定できる検体量が少量でなければ母乳を測ることは困難だったと思いますので、測定容量が200ccで本当によかったです。

## 『内部被ばく』 こうすれば防げる！

【諏訪問】激動の2011年があけて、2012年に漢人さんがここまでの放射能測定活動の経験などをふまえて本を出版されましたよね。出版記念のイベントは私もよく覚えています。



出版記念パーティで。協議会メンバーのお祝いメッセージの様子

【漢人】測定室の活動に注目した編集者の方からお話があり、2012年2月に『内部被ばく』こうすれば防げる！放射能を21年間測り続けた女性市議からのアドバイス』（文芸春秋）を出版しました。出版記念の会は測定室のみなさんにも協力いただき盛大に開催しました。小金井の市民による放射能測定活動の評価が定着し、広く認められることにもつながったと思います。その後、この本を通して、北海道から九州まで全国20カ所以上での講演の機会も得ました。3.11福島原発事故後に不安を抱えていたみなさんに、私たちの経験とアドバイスを伝えることができました。

【諏訪問】放射能の専門家ではない市民が実際に自分たちの手で測った経験則というのが、同じように不安をもつみなさんの心にも響いたのでしょうか。このあと数年間は私たちは週に6検体の測定を続けてきました。（現在は依頼が減ったため、週1検体に戻しています）

今回みなさんのお話をお聞きして、**原発事故後すぐに動けたことは、この測定室が存続していた意義として大きいと改めて思いました。**3年前に測定器を更新できたことも本当に良かったと思います。活動を継続するのは大変なことも多いですが、細々とでも測定を続けることが大事だと思っています。今日は10年以上も前の記憶をいろいろと思い出しただけ、ありがとうございました。

## 食品放射能測定結果

【2021年1月～2021年12月】

測定日	測定品目	産地	検査結果（放射能濃度）	
			セシウム137 (Bq/kg)	セシウム134 (Bq/kg)
1/15	干し柿	福島県伊達市	4.30	N.D.
2/12	レンコン（加熱）	茨城県	4.87	N.D.
2/12	あんぼ柿	福島県	3.27	N.D.
3/5	乾しいたけ	群馬	38.92	N.D.
3/27	干し柿	福島県伊達市	3.95	N.D.
4/9	ブルーベリージャム	イタリア	6.26	N.D.
5/21	竹の子	茨城県	5.82	N.D.
5/28	乾燥しいたけ（菌床）	福島県伊達市	24.00	N.D.

12/24	天然ヒラタケ（野生採取・水戻し）	宮城県七ヶ宿	※測定結果が国の基準値を超えたため市の精密測定結果を公表結果とします。（下記参照）	
-------	------------------	--------	---	--

12/24測定天然ヒラタケは、国の食品放射能基準値（一般食品：100Bq/kg）を超える値となりましたので、小金井市経済課より同検体の測定を外部測定業者に依頼し、ゲルマニウム半導体測定器により、精密測定を行い、下記の数値が公表されています。

**セシウム134 不検出+セシウム137 182Bq/kg 合計 180Bq/kg※**

※測定結果のセシウム134とセシウム137の濃度の合計値は、国の基準により、上位から3桁目を四捨五入し、有効数字2桁で記載することとなっています。本結果の場合、合計値は182ベクレルとなりますが、上位3桁目の2を四捨五入したため180ベクレルと表記しています。

測定器：シンチレーション検出器：CANBERRA 802 シリーズ 3x3 インチ MCA（マルチチャンネルアナライザ）：Osprey

測定核種：セシウム 134,137 測定容量：200ml 測定時間：6 時間

※検体は洗浄・未洗浄に関わらず依頼者が持ち込んだ状態で測定しています

## N.D.（検出限界値未満）検体

1月	/8 生シイタケ（群馬県）、/8 干し柿（長野県）、/15 しらす干し（日本）、/22 ほうれん草（東京都多摩地区）、/22 原木しいたけ（岩手県）、/29 豆乳（宮城県）、/29 豆乳（宮城県）、/30 上新粉（新潟県）
2月	/5 あんぼ柿（福島県）、/5 ひたし豆（山形県）、/19 ワカサギ佃煮（日本）、/19 ブルーベリージャム（不明）、/26 紅はるか干しいも（茨城県）、/26 納豆（茨城県）
3月	/5 生シイタケ（岩手県）、/12 そば茶（日本）、/12 乾うどん（群馬県）、/19 干し柿（長野県）、/19 焼きサバ（千葉県）、/26 ほうれん草（福島県伊達市）
4月	/2 生しいたけ（岩手県産）、/2 桜でんぶ（日本）、/9 干し芋（茨城県）、/16 竹の子煮（市内）、/16 竹の子煮（千葉県市原市）、/23 なめこ（福島県）、/23 こんにやく（福島県伊達市）
5月	/14 たらの芽（福島県伊達市）、/14 ふきのとう（宮城県）、/21 揚げもち（もち米：千葉県）、/28 菊芋（福島県伊達市）
6月	/4 ごごみ（秋田県）、/4 わらび（群馬県）、/11 焼きいわし（千葉県）、/11 さば煮（千葉県）、/18 青梅（群馬県）、/18 ニラ（茨城県）、/25 ふきのとう（野生）（新潟県）、/25 花かつお（鹿児島県）
7月	/2 エシャロット（茨城県）、/2 生しいたけ（東京都瑞穂町）、/9 タケノコ（長野県）、/9 調味梅干（日本）、/16 佃煮椎茸こんぶ（椎茸：中国、昆布：日本）、/16 味付しいたけ（椎茸：長野県）、/30 めんつゆ（国内製造）、/31 てんぷら粉（小麦粉：国内製造）
8月	/6 ブルーベリージャム（産地：エジプト）、/13 丸大豆せんべい（中国、米国、日本）、/20 井戸水（千葉県市原市）、/27 甘酒（新潟県南魚沼市）
9月	/3 リンゴ煮（福島県）、/10 昆布（北海道・厚岸）、/17 調乳済みミルク（不明）、/24 レンコン（茨城県）
10月	/1 コオロギせんべい（日本）、/8 乾燥ひらたけ（福島県）、/15 栗（長野県）、/22 青汁飲料（日本）、/29 柿（神奈川県藤沢市）
11月	/5 さば（千葉県）、/12 菌床しいたけ（千葉県）、/12 菌床しいたけ（千葉県）、/19 片栗粉（デンマーク）、/26 ドクダミ茶（市内）
12月	/3 レンコン（茨城県）、/10 銀サケ生（宮城県）